

別記様式第3号の4（第10条の2関係）

（第1面）

省エネ基準工事監理状況報告書（標準計算法）

東 広 島 市 長
 （ 建 築 主 事 ）
 （ 建 築 副 主 事 ） 様
 指定確認検査機関

工事監理者 住 所
 氏 名
 () 建築士 () 登録 第 号
 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 電話番号 () -

次のとおり、工事監理の状況を報告します。
 なお、この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

項目	報 告 内 容			
	報 告 事 項	照合を行っ た設計図書	確認の方法	確認の 結 果
1 基本 情報	ア 外壁等を構成している建材の仕様及び設置の状況		A・B・C	
	イ 主たる居室、その他の居室、床面積合計及び吹抜け等		A・B・C	
2 外皮	ア 熱的境界となる部位及び面積		A・B・C	
	イ 熱的境界となる屋根、外壁等の部位の断面構成、断熱材の種類・仕様、厚さ及び施工範囲		A・B・C	
	ウ 開口部の仕様（建具種類、枠・ガラスの仕様等）、形状及び設置位置		A・B・C	
	エ 構造熱橋部の断熱補強の仕様及び範囲（鉄筋コンクリート造の場合）		A・B・C	
	オ 基礎断熱部の基礎の形状及び範囲等		A・B・C	
3 暖房 設備	ア 暖房方式及び暖房機器の種類		A・B・C	
	イ 暖房設備機器の仕様及び性能		A・B・C	
	ウ 暖房設備等の設置状況（設置位置・台数、暖房の範囲等）及び風量等制御内容		A・B・C	
4 冷房 設備	ア 冷房方式及び冷房機器の種類		A・B・C	
	イ 冷房設備機器の仕様及び性能		A・B・C	
	ウ 冷房設備等の設置状況（設置位置・台数、冷房の範囲等）及び風量等制御内容		A・B・C	
5 換気 設備	ア 換気方式、換気設備の仕様及び性能		A・B・C	
	イ 換気設備等の設置状況（設置位置・台数、ダクト径・長さ及び給排気口の位置・径等）		A・B・C	
5 給湯 設備	ア 給湯設備の有無及び熱源機の種類		A・B・C	
	イ 給湯設備機器の仕様及び性能		A・B・C	
	ウ ふろ機能、給湯配管、水栓及び浴槽の仕様等		A・B・C	
6 照明 設備	ア 主たる居室、その他居室、非居室の照明設備の種類及び制御等の設置状況		A・B・C	

(第2面)

項目	報 告 内 容			
	報 告 事 項	照合を行っ た設計図書	確認の方法	確認の 結 果
8 太陽 熱発 電設 備	ア パワーコンディショナの低下負荷効率		A・B・C	
	イ 太陽電池アレイの種類及び容量		A・B・C	
	ウ パネルの設置状況（設置位置・範囲）		A・B・C	
9 太陽 熱利 用設 備	ア 太陽熱利用設備の種類		A・B・C	
	イ 液体集熱式太陽熱利用設備の種類及び品番		A・B・C	
	ウ 液体集熱式太陽熱利用設備及び集熱部の設置状況		A・B・C	
	エ 空気集熱式太陽熱利用設備の仕様及び性能		A・B・C	
	オ 空気集熱式太陽熱利用設備及び集熱部の設置状況		A・B・C	
10 コー ジェ ネレ ーシ ョン 設備	ア コージェネレーション機器の品番及び種類		A・B・C	

- 注 1 この様式は、標準計算法により建築物エネルギー消費性能基準に適合することを確認した建築物に係る工事監理の状況の報告に用いてください。
- 2 計算対象となる設備等がない場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要とする。
- 3 「照合を行った設計図書」の欄は、建築基準法施行規則第1条の3に掲げる図書及び書類のうち、工事監理において照合に用いたものを記載してください。
- 4 報告事項2イの「断熱材の種類・仕様、厚さ、施工範囲」について、第2面に施工写真等を添付してください。写真撮影方法については、写真撮影マニュアルを参考にしてください。
- 5 「確認の方法」の欄は、次に掲げる記号のうち該当するものを○で囲んでください。なお、Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な書類を記載することとし、その書類は、検査の際に確認する必要があるため、現場に備え置いてください。
- A 目視又は試験による立会確認
- B 計測等による立会確認
- C 自主検査記録、施工記録、測定記録、納入仕様書、材料搬入報告書、工事写真、規格証明書、施工図、試験成績書等による確認
- 6 「確認の結果」の欄は、「適」又は「不適」のいずれかを記載することとし、「不適」を記載する場合には、建築主に対して行った報告の内容も併せて記載してください。なお、工事施工者が注意に従わなかった場合は、「不適」を記載してください。
- 7 不用の文字は、消してください。